

# 図書館だより February LOVE

宇都宮市立旭中学校  
令和6年2月号

『あなたが今、撒く種は、やがてあなたの未来となって現れる。』  
～今の自分にできることを、すぐに成果が出なくても、将来の自分のために～



夏目漱石 (1867年2月生) 代表作「こころ」「吾輩は猫である」「坊っちゃん」など。☆学校図書館にあります。



寒さが厳しい2月ですが、冬至のころと比べて昼の時間が長くなり、陽の光も明るさを増してきました。3年生は卒業まで、残り約1か月ですね。来月には皆さんに笑顔の花が咲くよう、学校図書館より応援しています。1・2年生も進級に向けて、勉強・スポーツ・部活動など3年生に負けないように集中してがんばっていきましょう！

## ☆新着図書のお知らせ

2/22 は猫の日！



新しい本がぞくぞくと図書館に入ってきています！  
寒い日は“温かい部屋でゆっくり読書”のチャンスですね♪



小木曾健著  
メイツ出版



大城道則ほか著  
ポプラ社



じゅえき太郎ほか著  
プレジデント社



太田ゆか著  
河出書房新社



冬野夜空著  
スターツ出版



坂爪真吾著  
晶文社



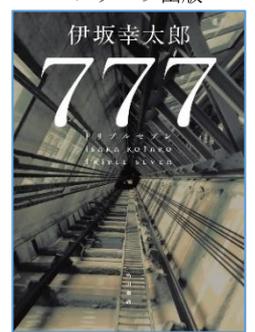
稲垣栄洋著  
筑摩書房



白鳥敬著  
ペレ出版



古賀史健ほか著  
ポプラ社



伊坂幸太郎著  
角川書店



⇒ **3年生の貸出は2月16日(金)で終了します。**



\* 3年生は卒業を控えているので、貸出は今月で終了となります。3年生はくれぐれも返却を忘れないよう注意してください。教室や家の中に本がないか、今一度確認をお願いします。



よろしくおねがいします！

**3年生の最終返却日: 2月22日(木)**



# 司書のイチオシ本！ コーナー☆

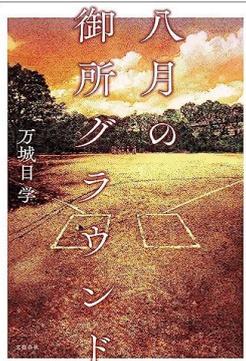


令和5年～6年に読んだ本のなかから、絶対面白い！「これ読も☆本」を紹介していきます。



## 『成瀬は天下をいく』 宮島未奈 著 新潮社

今年の新潮社の元旦広告は、この本と一緒に「最高の主人公と、ひとりでは行けない場所へ。」というコピーが添えられていました。中学生の成瀬あかりは真面目な顔で「200歳まで生きる」と卒業文集に書き、地元のデパートが閉店するまで毎日生中継に映りに行き、幼なじみとお笑いコンビでM-1を目指すと言い出します。マイテーマを思うがままに追いかけていく成瀬から、読みだすと目が離せなくなります！自由奔放で突拍子もない言動を貫くけれど、ときにはちょっと悩んでみたり。成瀬を見守る人々もまた、自分のことを考えはじめて…。なんとも爽やかで、ネガティブな気持ちをふっとばしてくれる1冊です。続編も出ました！



## 『八月の御所グラウンド』 万城目学 著 文藝春秋

1月に発表された第170回直木賞受賞作。京都を舞台に行われるスポーツ2つの物語です。女子全国高校駅伝前日の夜に、いきなりアンカーとして選ばれてしまった「絶望的なくらいに方向音痴」な彼女。当日気が付くと、一緒に走っていたのは？浅葱色の陣羽織に「誠」の旗？謎の草野球大会に、借金と焼肉がからんで出場するはめになった大学生。早朝の御所グラウンドに欠けることなくなぜかそろそろメンバー。「えーちゃん」はあの有名な野球選手と関係が？青春×不思議×スポーツ×京都をとびきり面白く切なく、じんわり温かく描いた作品です。



## 『宙わたる教室』 伊与原新 著 文藝春秋

「火星の夕焼けは、青い。」新宿の定時制高校に通う、年齢も生きてきた環境もばらばらの生徒たち。それぞれに学校に通えず勉強ができなかった事情があり、悩みながらも「科学部」として火星のクレーターを再現、結びつけてくれた先生と共に実験を繰り返し学会発表を目指すこととなりますが…。仲間になるには、年齢も経歴も関係がない。学ぶことを知り自分のなかのたくさんの感情と向き合って。ぶつかりあいながらも同じ目標に向かう熱量とその喜びをぜひ読んで感じてください。あとがきを読むと、この感動が倍増します！



## 2月の学校図書館・特別展示は☆

- ① 立志式について (2年)
- ② 図書委員会・おすすめ本 (放送スライド紹介本)
- ② 理科の本、大特集!!! (1年理科・地学)
- ③ 季節のコーナー (節分・バレンタイン特集!)
- ⑤ 2/22 猫の本 たくさんそろえます (=^・^=)



## < 2月の行事より >



福井市にある  
左内公園に  
立っております

立志式とは、武家社会における成人式（15歳）を意味する**元服にちなんだもの**とされています。

また孔子が論語のなかで述べている、「吾、**十有五にして学に志し**」という言葉や、幕末の志士橋本左内が15歳の時に書いた『啓発録』にある「立志」という言葉に由来するとも言われます。  
\*元服とは…数え年で11歳～16歳の間に、男子が成人して髪形、服装、名前を大人のものに改める儀式。

幕末の有名な志士、西郷隆盛が命の最期まで手放さず持っていた手紙が、この橋本左内からのものでした。西郷から信頼を寄せられるほどの人物であった左内の『啓発録』では5つの大切なことがあると語っています。

- ① 「志を立てる」 夢や目標をしっかり持つこと。
- ② 「気を振（ふる）う」 自分に打ち勝つこと。
- ③ 「学を勉める」 学び成長すること。
- ④ 「稚心（ちしん）を去る」 甘えをなくすこと。
- ⑤ 「交友を択（えら）ぶ」 お互いが成長できる友を選ぶこと。



驚くことに、橋本左内は15歳のときに、この『啓発録』を書いたのです。君たちは、同じ15歳で今この時代に、どんな立志を立てるのでしょうか。